

みずほCustomer Desk Report 2016/10/07 号(As of 2016/10/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	103.45
TKY 9:00AM	103.45	1.1206	115.92	0.9741	1.2751	0.7620
SYD-NY High	104.17	1.1212	116.29	0.9817	1.2760	0.7622
SYD-NY Low	103.35	1.1140	115.72	0.9738	1.2602	0.7562
NY 5:00 PM	103.96	1.1152	115.94	0.9810	1.2615	0.7584
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.865/12.215	△25RR	1.198	Yen Call Over		

NY DOW	18,268.50	▲ 12.53	債券市場	日本2年債	-0.2750	0.1bp
NASDAQ	5,306.85	▲ 9.17		日本10年債	-0.0580	▲0.1bp
S&P	2,160.77	1.04		米国2年債	0.8496	1.8bp
日経平均	16,899.10	79.86		米国5年債	1.2776	3.4bp
TOPIX	1,353.93	6.12		米国10年債	1.7372	3.5bp
シカゴ日経先物	16,975	▲10.00	為替市況	独10年債	-0.0180	▲1.3bp
ロンドンFT	6,999.96	▲33.29		英10年債	0.8710	5.6bp
DAX	10,568.80	▲16.98		豪10年債	2.1640	3.9bp
ハンセン指数	23,952.50	164.19		USD/CNH	6.7073	0.0083
上海総合	-	-		ドルインデックス	96.77	0.64
USDJPY 3M Vol	11.39	▲0.28%	商品市況	CRB指数	188.542	▲0.24
USDJPY 6M Vol	11.24	▲0.11%		NY金	1,253.000	▲15.60
EURJPY 3M Vol	11.56	▲0.38%		WTI	50.440	0.61
EURJPY 6M Vol	11.80	▲0.16%		Dubai Spot	48.98	0.02

東京	東京時間のドル円は102.45レベルでオープン。前日海外時間に発表された米経済指標が良好な数字となったことを背景に日経先物が上昇したことを受けて、日経平均株価は100円弱上昇して取引開始。しかし、翌日に米9月雇用統計の発表を控える中、ドル円相場の反応は鈍く、103円台半ばでもみ合い推移が続いた。午後に入り、衆院予算委員会に出席していた黒田日銀総裁より「金融緩和により、債券マーケットの枯渇が問題になるとは考えていない」などとの発言が報じられるも、特段マーケットへの影響は見られず、103.57レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロドルは1.1206レベルで東京時間オープン。前日の良好な米経済指標を受けたドル買い地合いが継続し、ユーロは緩やかに下落するも、翌日に米雇用統計の発表を控えて値動きは鈍く、1.1195レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	本日、ロンドン市場のドル円は強含んだ。103.57レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、米経済指標の良好な結果を背景にFRBが年内に利上げをする可能性が高まったとの思惑からドル円は上昇。一時103.77まで上昇し、103.64レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは下落する展開。1.2709レベルでオープン。メルケル独首相が英国のEU離脱をめぐる交渉について、「EUは単一市場への全面的なアクセスと完全な移動の自由受け入れが不可欠」との立場を堅持する必要がある。EUと英国の交渉は容易ではなく、お互いの市場にどうアクセスするかを明確にする必要がある」との発言が伝わった事を受け、「Hard Brexit」への懸念から1.2661レベルまで値を下げ、同水準でNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外市場でドル円は底堅い推移が続き103.64レベルでNYオープン。朝方発表された米新規失業保険申請件数が良好であったことや、WTI原油が50ドル台を回復したことなどからドル買いが強まり、104円台まで上昇。米紙がサウジアラビア皇太子は同国エルギー相に同国のマーケットシェアを減らさないように減産交渉するよう指示と報じたこと等でリスクセンチメントがやや後退し、ドル円は103.84まで反落した。その後、コンスタンシオECB副総裁の「ECBがテーパリングの方向で合意に近いとの報道は正しくない」との発言が伝わると、ユーロ売りドル買いが強まり、ドル買いの流れの中でドル円は一時高値104.17まで上昇。このレベルでは戻り売り意欲も強く103.87まで一旦下落するも、堅調な米10年債利回り、そして翌日の米9月雇用統計への期待感を背景にドル円は底堅い推移となり、104.16まで再度値を戻し、103.96レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロドルは1.1185レベルでNYオープン。コンスタンシオECB副総裁の発言を受けてユーロ売りが強まると、一時1.1140まで下落。しかし同レベルでは下げ渋り、1.1152レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月6日	8:50	対外・対内証券投資	-	-
	15:00	製造業受注指数(前月比)	8月 1.0%	0.3%
	20:30	ECB理事会議事要旨公表	-	-
	21:30	新規失業保険申請件数	249K	256K
	-	G20財務省・中央銀行総裁会議(10/6-7)	-	-

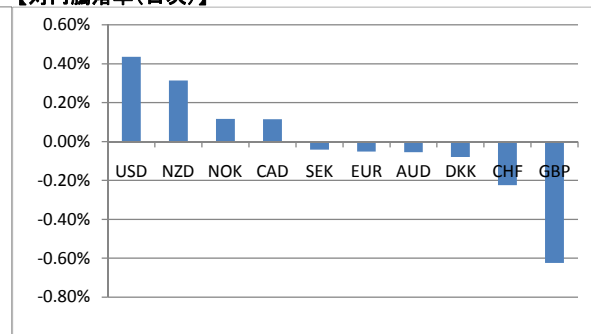
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前日
10月7日	15:00	鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 1.0%/0.4%	-1.5%/-1.2%
	17:30	鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.3%	0.1%/2.1%
	21:30	非農業部門雇用者数変化	9月 172K	151K
	21:30	失業率	9月 4.9%	4.9%
	21:30	平均時給(前月比/前年比)	9月 0.3%/2.6%	0.1%/2.4%
	21:30	失業率	9月 7.0%	7.0%
	21:30	雇用ネット変化	9月 7.5K	26.2K
10月8日	23:30	フィッシャーFRB副議長講演	-	-
	1:45	マスター・クリーブランド連銀総裁講演	-	-
	4:00	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	-	-
	5:00	ブレインードFRB理事講演	-	-
	10:45	Caixin総合/サービス業PMI	9月 -/-	51.8/52.1
10月9日	-	米大統領選 第2回テレビ討論会	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.00—105.00	1.1100—1.1200	115.00—117.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間、年内の米利上げ観測を背景としたドル買い地合いが継続するなか、ドル円は伸続した。欧州時間序盤、ドル円は103円台半ばで揉み合い推移。米インシャルクレームが市場予想比良好な結果となり、米債利回りが上昇したことに加え高となると、9/5以来となる104円台を回復、一時、104.17まで上昇した。hard Brexit懸念のあるGBPは一時1.2602まで続落し最安値更新、コンスタンシオECB副総裁がテーパリング報道を否定したEURも1.1140まで軟化、他通貨も総じて対ドルで下落した。本日は、米9月雇用統計の結果次第か。よほど弱い数字が出ない限りは年内の米利上げ観測が剥落するとは考えづらく市場のドルブル姿勢は維持されそう。ただし、8日連騰のドル円をはじめて足元、急速にドル買いが進んでいるだけに一旦、ドルロングポジション調整が入ることに警戒したい。